

外部評価

平成30年度 中央区立久松幼稚園 外部評価報告書
評価委員：前田委員、関口委員、中村委員、吉崎委員、苗木委員、川名委員、 福田委員、五味委員、酒井委員、川口委員、村上委員、岩田委員
評価時期 平成31年2月4日（月）
1 重点目標の評価 ○かなりのレベルで達成されていたと思う。 重点目標1について <ul style="list-style-type: none">・保護者との連携を図りながら、温かく規律ある幼稚園生活を送る、というところでは、親の頑張りを期待したい。特に、礼儀は生まれて死ぬまで一生大切なことであり、家庭での教育が重要である。・教職員が褒める指導で育てている。挨拶は、園外でもできるように保護者を含めて引き続きお願いしたい。・がまんすることも大切なこと。また、今何が大切か判断できる子になってほしい。・自転車登園が多く見られる。道路の斜め横断もあり心配である。・インフルエンザ集団感染も少ないようでありがたい。加湿装置が効いているという関係もあるのではないか。また、教職員の目配りがあるのだろう。・「久松すくすくプラン」など家庭の協力が必要なものは継続的に繰り返し発信し、さらに連携して取り組んでいってほしい。 重点目標2について <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの笑顔と自主性、先生方の熱意と努力が感じられ、よい教育現場だと思う。交流活動など教育内容がしっかりしていろいろなことを経験できている。 重点目標3について <ul style="list-style-type: none">・人数が増えている。限りある園舎、庭を効率よく工夫して利用していて素晴らしい。遊びのルールを守り、事故に結び付かないようにしてほしい。 重点目標4について <ul style="list-style-type: none">・地元や町を大事に思い大切にしていける教育は大切である。江戸の町として魅力が豊富である。これを生かしていってほしい。幼稚園でもとても頑張っていると思う。 2 その他、今後の改善に向けた意見 <ul style="list-style-type: none">・地域、保護者の価値観もさらに多様化し、多くの幼児を受け入れる中、先生方が大変お忙しい状況に、保護者の不安感が増しているような気がする。中央区では幼児の人数に対しての配置人数が決められているとのことであるが、園児数が増えている中、考え直す提案も必要と考える。・幼児の増加に伴い、今のままではうまくいかないことが増える。負担の軽減も含め、思いきって変えていくことも必要と強く思う。その際、保護者をはじめ関係者に丁寧に繰り返し説明していくことが大切ではないか。